

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		施設管理事業				②事業番号		4201	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
						年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		○ 条例		規則		要綱	
⑦実施手法		直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		4		項		1	
⑨担当部名		健康福祉部		⑩担当課名		保健推進課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
保健センター庁舎の空調維持管理、夜間警備、エレベーター管理、清掃等において業務委託をし、維持管理・運営管理を行う。		① 主な事業における施設使用回数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
保健センターは、乳幼児から高齢者まで利用する健康づくりの拠点施設であり、安心・安全、清潔に維持管理する。		① 主な事業参加人数		人	
		②			
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
安心・安全・清潔に建物内を維持管理することにより、保健センター事業である母子保健事業等を円滑に実施し、母子保健事業等の充実を図る。		政策(章) 2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち			
		施策大(節) 1 子どもと大人が夢や希望を持ち、ともに成長できるまちをめざします			
		施策中 1 子どもと親の健康づくりの推進			
		施策小 1 母子保健事業の充実			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	62,549	61,984	61,457	—	—	R1実績施設使用回数、事業参加人数の減少は新型コロナウイルス感染拡大防止策として大部分の事業を中止したため。
対象指標②								
活動指標①	主な事業における施設使用回数	回	698	741	512	650	650	
活動指標②								
活動指標③								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標①	主な事業参加人数	人	16,059	13,744	12,737	13,500	13,500	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.30	0.30	0.15	0.15		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,409	2,432	1,157	1,157		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	直接事業費	千円	8,851	7,562	6,946	8,275		
	総事業費	千円	11,260	9,994	8,103	9,432		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	11,260	9,994	8,103	9,432		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	昭和59年4月に保健センターがオープンし、庁舎の維持管理事業を実施している。
②開始から現在までの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	竣工から20年以上経過し、施設の老朽化が進み、メンテナンスが順次必要になる。より安全、清潔な施設の充実を図り、市民が快適に利用できる施設の維持・管理を目指す。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	建物を安心・安全に維持管理することにより、母子保健事業等の充実につながる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市民が利用する市の建物であり、維持管理運営することは、市の責務である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	保健センターは市民の健康づくりの拠点でもあり、市民のニーズに合っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	市民が保健センターを利用できなくなる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	乳幼児健康診査やがん検診など多くの利用者があった。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	長期契約については、今までプロポーザル方式で実施していたが、今後は入札の方式をとり、仕様書を詳細にして、質の高いサービスが提供できるようにを実施していく。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	施設維持管理事業については、受益者負担の考えは適さない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	施設管理事業は保健センターの事業を実施するうえで必要不可欠である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など		—			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—			